同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

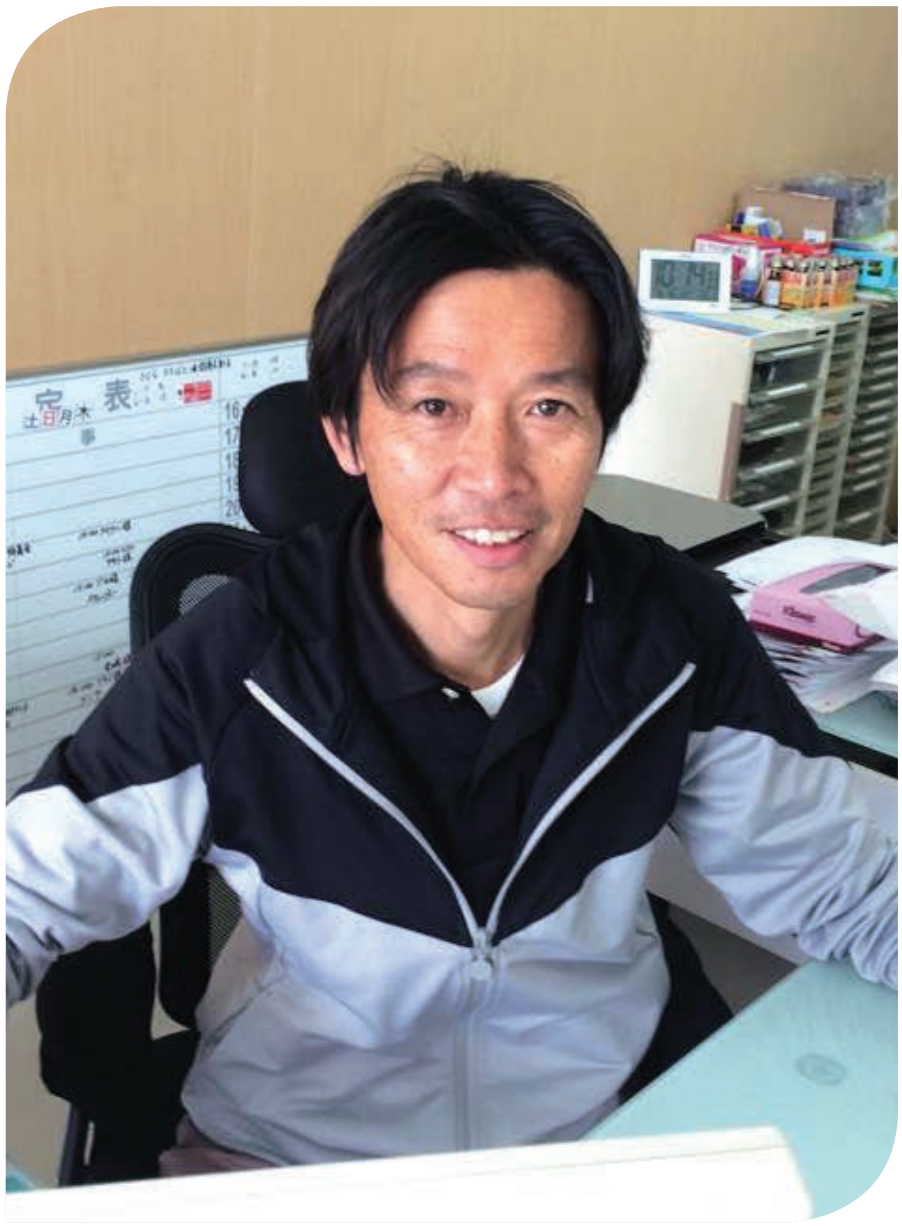
2015年（平成27年）3月号

No. 324

発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄県産業支援センター603号
☎.098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.139



中部支部活動にも日夜奮闘中

㈱インプレス　代表取締役　石村 弘之 さん

石村社長は、中部支部の例会企画委員長。支部例会、バスツアー（企業視察）、新会員オリエンテーション、忘年会・新年会、交流会（ボウリング大会等）、様々な集まりの企画・運営に腕を振るっています。例会企画委員会は月一度インプレスの店舗で行われています。中部支部のために日夜奮闘する石村社長に話を伺いました。（新井良直）

キャッチフレーズは「車も身体もピッカピカ！」

車のコーティングとエステの組み合わせ

インプレスは、一昨年、沖縄市泡瀬三二九号線沿いのマクドナルドの向かいＨｏｔｔｏ Ｍｏｔｔｏとなりのマンションの一階に車の洗車、コーティング専門店としてオープンしました。

当初は、看板も目立たず何屋さんかわからない都会の隠れ家的存在でしたが、今はコーティングとエステという珍しい組み合わせで、ひときわ目立つ看板も注目を浴びています。一見、車の洗車・コーティングとエステが一緒のお店で出来るの？と思いますが、これまで美を追求してきた石村さんならではの工夫が満載のお店になっていました。

女性の美を追求してきたノウハウを生かす

石村社長は、大学卒業後、カネボウ化粧品に入社しました。営業職として店舗の運営をみていました。沖縄には三〇年前に転勤してきました。奥様の出産直後の転勤命令を拒否し、はれてウチナームークとして骨をうずめる決意をし、金融会社勤務を経て現在に至ります。

その差は歴然です！

「主なターゲットは女性ドライバーになります。過去の経験を活かそうと思っています。若い女性でも化粧など自分の美容には気を遣うのに、車は手入れ不足でぼろぼろという人も少なくない。ちょっと手を加えるだけで磨きがかかるのにもったいない。ただ、ガソリンスタンドでは満足のいくができました」

女性向けエステもはじめました

洗車のお客様は待ち時間が一時間程度かかります。その時間を活用するために輝きは得られません。新車だと傷がつくのがいやで手洗いの洗車ワックスを頼むが、それほどきれいになるわけではないのです。その点、当社は、丁寧に時間をかけて洗車、コーティングします。特にグラス・コーティングは、通常のものと異なり五年間効果を持続することができます。その差は歴然です。」石村社長は自信たっぷりに話します。

コーティングをすることによって、車の見栄えをよくするだけではなく、沖縄の強い紫外線や塩害などからも車を守ることが出来ます。

またエピソードとして、「ある時、建築会社から切羽詰った依頼がありました。建築中に間違って隣の車にペンキをこぼしてしまったそうだ。きれいにしてほしいと必死に頼まれ、手間はかかったが新車の輝きに戻してお返しすることが出来た。」

「化粧品会社で、女性の美を追求してきたノウハウを新たな仕事でも生かそうと思った」全国展開のワックス・メーカーの社長からの口利きもあって専門店を立ち上げることになりました。

女性向けのエステも始めることにしました。もちろん専門のエステシャンが対応しています。

キャッチフレーズは、「車も身体もピッカピカ！」車とエステ。結びつきますか？化粧品会社出身の石村社長らしい実にユニークな発想でした。

「少しぼろが目立つ車だったが、まるで新車のようにピッカピカだと感激していただけるのは、とてもうれしい」と語る石村社長。石村さん！今年も中部支部を宜しく(^^)

お店の看板と石村さん

《会社概要》

㈱インプレス

代表取締役　石村 弘之 氏

所在地／沖縄市字高原4-18-1
シティハイツ高原101
ＴＥＬ／098-933-0113
事業内容／自動車コーティング業
（車のボディコーティング
施工及び溶剤の卸販売）
ＵＲＬ／http://impress-okinawa.biz/

第29回 定時総会

日時　2015年４月23日（木）
午後４時～８時30分

会場　ANAクラウンプラザホテル
沖縄ハーバービュー

内容

第Ⅰ部「総会議事」（PM4:00～5:30）

第Ⅱ部「記念講演」（PM5:45～7:00）
テーマ：あなたの地域に同友会は本当に必要とされていますか？
～学びの実践で企業と同友会と地域をのばす～
講　師：㈱ダテハキ 会長　守 和彦 氏
（北海道同友会　代表理事）

第Ⅲ部「懇親パーティー」
（PM7:15～8:30）
懇親会費　5,000円

茶論

沖縄県より狭い国土に、多種民族で四倍の人口を抱えているシンガポールの勢いが止まらない。昔から貿易中継地として外国との交流が盛んで、年中夏気分気候という環境は沖縄と似ている▼私にとっては最近まで後進国イメージだったのに、訪れてみれば人件費や不動産の経済水準の高さに驚かされた。「居酒屋で日本酒一本に二〇〇ドル（一万円）取られた」と後悔しきりの某社長、アジアは物価が安いという思い込みから目が覚めた▼象徴「マーライオン」に始まり、奇抜な造型デザインのホテル、未来都市を描いたガーデンなど発想力・デザイン力・技能力・・・そして、スピード力。どれをとっても脱帽。で、何がそうさせたのか？▼国土が狭く資源が乏しい・・・、ならば、高い技能を有する国民となり、革新的経済・特色あるグローバル都市となろうと新成長戦略ビジョンを描いた。国民は〝競争力ある人財〟になるべく努力し、国は夢を現実にする〝選択と集中戦略政策〟を徹底しているのは間違いない▼沖縄はアジアのハブ空港と言われているが、今やアジア進出企業が統括会議をするのはシンガポール。負けてはおれないが、ブラックだと騒ぐ社会では安心して競争を叫べない。ホント、困ったもんだ。

ITの未来を感じた IT津梁まつり2015

多くの来場者がITの魅力を楽しんでいました

天候に恵まれた一月三〇日～一月三一日の二日間、沖縄コンベンションセンター展示棟において「IT津梁まつり二〇一五」が開催されました。沖縄県より委託されIT産業人材確保支援事業のもと、公益社団法人沖縄県情報産業協会、沖縄県中小企業家同友会、NPO法人フロム沖縄推進機構、株式会社ケイオーパートナーズによるコンソーシアムを結成し実施いたしました。また、一閣府沖縄総合事務局や沖縄県教育委員会をはじめ、昨年を上回る五七の団体や企業からご後援をいただき、さらに多くの企業から協賛いただきました。

IT津梁まつりのねらいは、①学生を含めた県民に対して県内IT関連企業の商品やサービスを広く紹介し、IT関連の仕事に対する理解を深めてもらう。②学生に企業の活動内容を知ってもらい、IT産業への興味・関心を引き出す。③教育界、産業界、地域（親）、行政の4者は一体となって新たな人材育成のモデル形成のきっかけとする。④県内ITユーザーへ県内IT企業の商品を紹介するとともに、ユーザーの情報化、IT高度化の情報提供の場とする。の四項目をあげており、離島からの宮古工業高校や、八重山商工高校をはじめ、今年は南城市立大里中学校が出展し全県的な取り組みとして拡大しております。

子どもたちもロボットに夢中です

昨年度に続き、3Dプリンターやプロジェクションマッピングに加えて、今年は搭乗型外骨格ロボットや三六〇度動画の無料撮影体験といったコーナーが大人気でした。来場者からは、「ITの未来を感じた。スケルトニクスの迫力がすごかった」、「大人も子供も楽しめ、新発見がありよかったです。子供は声をあげながら『おぉー！』と喜んでいました。ありがとうございます」等のアンケート回答がありました。

会場内を歩きまわっていたスケルトニクス

二日間で目標の三〇〇〇名を大きく上回る来場者数があり、次年度へむけてステップ&ジャンプしたイベントとなりました。

（屋宜宣秀）

社労士・コンサルタント 青山喜佐子の 知って得する シリーズ113

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686
青山喜佐子（あおやまきさこ）
（オフィスあるふぁ代表）

人に仕事を合わせる働き方

「あなたの好きな場所、好きな働き方で正社員になりませんか」こんな求人募集があります。具体的には、

・地域密着プラン…通勤可能地域で勤務する
・Uターン・Iターンプラン…半年後好きな地域へ異動できる
・子育てプラン…一日四時間正社員
・キャリアアッププラン…転勤できなくても昇進できる

医療機関の例では六種類の正職員に区分し、働き方を選べる制度です。

①正職員A…週四〇時間、夜勤・休日勤務あり
②正職員B…週四〇時間、夜勤・休日勤務あり（回数制限）
③正職員C…週四〇時間、夜勤・休日勤務なし、昇給なし
④正職員D…週三九時間未満、夜勤・休日勤務あり（回数制限）
⑤正職員E…週三九時間未満、夜勤・休日勤務なし、昇給なし
⑥正職員F…週三〇時間、夜勤・休日勤務なし、昇給なし

昇給以外にも家族手当や特別休暇で区別しています。

これまでの正社員と契約社員やパート社員というだけでなく、多様な働き方を企業が提案しなければ人材確保ができない時代です。雇用の質を落とさず社員のモチベーションを上げ、生産性を向上させる工夫です。

働き方いろいろ

特に女性や高齢者で支えられたサービス産業は、「仕事に人を合わせるのではなく、人に仕事を合わせる」ことが求められます。

働きざかりの三十～五十代が育児や介護で職場を離れることは社会全体の大きな損失です。「多様性（ダイバーシティ）」が求められる今日、仕事の見直しと働き方を考えてみませんか。

支部・部会総会について

支部

①北部支部　第26回支部総会
5月19日（火）午後6時30分～9時30分
会場：ホテルゆがふいんおきなわ

②中部支部　第28回支部総会
5月15日（金）午後6時30分～9時30分
会場：ラグナガーデンホテル

③浦西支部　第20回支部総会
5月8日（金）午後6時～9時
会場：てだこホール

④那覇支部　第17回支部総会
5月13日（水）午後6時30分～9時30分
会場：沖縄産業支援センター

⑤南部支部　第20回支部総会
5月14日（木）午後6時30分～9時30分
会場：ちむぐくる館

⑥宮古支部　第23回支部総会
5月16日（土）午後5時30分～9時
会場：ホテル共和

⑦八重山支部　第25回支部総会
5月18日（月）午後6時30分～9時30分
会場：ホテルミヤヒラ

部会

①碧の会　第27回部会総会
5月12日（火）午後1時30分～5時
会場：ザ・ナハテラス

②守礼ネット会・みらい21・eおきなわ・エコま～る業種4部会合同総会
5月12日（火）午後6時～9時30分
会場：沖縄産業支援センター

③うりずん　第8回部会総会
5月9日（土）午後5時～8時
会場：沖縄産業支援センター

広報委員会 学習会 No.6 那覇まちま～い

ガイドの方の説明に耳を傾ける参加者

二月十五日、広報委員会学習会を開催しました。今回は、那覇市観光協会が行っている、地元ガイドと那覇のまちを歩いて、楽しもうという「那覇まちま～い」企画を利用しました。

たくさんのコースがある中で、広報委員会が選んだものは、「琉球八景シリーズ」。琉球八景とは、実際には琉球には訪れていない葛飾北斎が、当時来琉していた冊封使の書いた琉球見聞録「琉球国志禄」をもとに描いた風景画です。その風景画に描かれているゆかりの地を散策しました。那覇商業高校の近くにある松山公園に集合し、粂村竹籬、長寿宮跡、新修見栄橋碑、長虹秋霽を歩きました。

江戸時代とは、景観はまったく違っていますが、記念碑などが建てられ、面影がかすかに残っていたりなど、風景画に描いているものが、確かにここにあったという証明になっていました。

道の途中には歴史情報を表示してある案内もありました

普段は、何気に通っている那覇のまちが、ガイドを交えて観ることで、いつもとは違う角度や支店で楽しめ、とても新鮮でした。

「那覇まちま～い」はこの他にもコース（現在、三四コース）があります。ホームページなどで紹介されていますので、ぜひご利用されてみてください。

八重山支部 新春の集い
「産・学・官」連携で地域を元気に

講師の新城博氏

八重山支部では一月三〇日にホテルミヤヒラにて新春の集いを開催しました。記念講演として「循環型社会形成におけるビジネス」をテーマに、㈱トリム会長 新城博 氏が講演を行いました。

今では、廃ガラスから生まれる「人口軽石スーパーソル」のプラントが、全国の納入先で十七基、二四時間稼動しており、海外へも台湾への輸出第一号が決定している同社ですが、そこへ至るまでの様々な苦労を、その時の正直な気持ちと正確な数字を交えて、興味深く話して頂きました。

参加者31名で開催しました

会社が長くなるにつれ、社員の給与が圧迫してきたことから、ビンのリサイクルを始めてみたこと、設備を開発したが、結果に結びつくまでに多額の資金と時間がかかったことなどが語られ、会場の聞き手も目の前で、まさに歴史をなぞっている雰囲気に包まれました。その後、誰よりも早く出社して会社の掃除をしていることを筆頭に、いくつかの長年培って来た心構えを教えて頂きました。さらに、中小企業こそ連携が必要。同友会会員が集い、「産・学・官」が連携して地域を元気にしていきましょうとエールが送られました。

講演会終了後の新年懇親パーティーでは、漢那政弘副市長、知念辰憲市議会議長の後に講師の新城氏も挨拶され、石垣市中小企業振興基本条例の制定に、これからの成長への期待感で会場は大いに盛り上がりました。

（宮良高彰）

これからの八重山へ期待と込めて乾杯

フォトで見る２月の活動

役員研修講座では、地域づくりについて学びました

報告者の高江州苗美氏
－エコま～る例会－

浦西支部２月例会では、３氏が同友会、自社の経営について語りました

グループ討論にて、さらに学びを深めます
－役員研修講座第５講－

みらい21視察見学会では、名護トンネルの工事現場を視察にいきました

那覇支部例会の講師　岡山県総社市 市長　片岡聡一氏

第７期同友会大学院の講師
井上秀雄氏

健障者委員会例会にて、
報告者の友寄利津子氏

社長・社員共育塾

受講生によるの「一年間の成長」発表
－新人フォローアップ研修会－

経営指針作成講座　修了式

経営指針作成講座で、宮城勇委員長（左）
より修了証の授与

企業変革支援プログラムについて
学びました－中部支部学習会－

北部支部２月例会

ｅおきなわ例会は、小渡玠代表理事に
よる報告

あの頃の同友会 No.3

大城 辰彦（沖縄同友会専務理事）

１千名を展望した第一次中期ビジョン

創立から数年で会勢は倍々になり、活動も活発に行われ、支部づくりもすすむ中で、「沖縄同友会は、どういうことをめざしていくのか、方向性や目標を決めないといけないのではないか」という意見が出た。そのためには、沖縄同友会の将来像＝ビジョンが必要だということになった。

早速、当時の代表理事である糸数哲夫さんと事務局長の私が泊まり込みで議論しあった。「企業は社長の器で決まる、と言われるように、同友会も代表理事・事務局長の器で決まる」と糸数さんに言われた。糸数さんの沖縄同友会を担うトップとしての熱い思いが私の胸にささったのを今でも憶えている。

ビジョンづくりは、１年かけて理事会や支部で議論され、1991年４月の第５回定時総会で採択された。採択時は、1991年度～1993年度であったが、その後２年延長され1995年度までとなった。

沖縄同友会がめざす将来像として、①地域に根ざし、名実ともに沖縄一の経営者団体に～1000名会員の同友会を、②対法人企業組織率で全国有数の同友会に、を掲げ、具体的目標を３つの柱で提起した。１.経営指針の作成・確立、異業種交流、社員教育、共同求人活動を大きな柱に強靭な経営体質をつくりあげ、経営者としての総合的能力を高めていきます。２.中小企業が果たしている社会的役割にふさわしい、環境づくりをめざす同友会～特に沖縄経済の状況をふまえた経営環境づくりの提言。３.会員ひとり一人が主人公の同友会～組織課題。このビジョンで指し示した目標の実現に向かって活動が展開された。

その結果その５年間で、会勢は350名から600名に、95年には同友会大学を開校、観光関連部会「守礼ネット会」の設立、地域支部としては、最後の宮古支部の設立と、ビジョンで掲げた主な目標をほぼ実現。北海道の同友会大学へも参加して１年かけてスタートした「同友会大学」も、今年度で20期を数えた。

この第１次中期ビジョンの成果をふまえ、第２次中期ビジョン（1996年度～2000年度）へと繋がっていく。

以上

第１ビジョンを採択した第５回定時総会
（左上、講師の故 西村氏（北海道同友会））

宮古支部・碧の会二月合同例会
女性らしく　たくましく　環境の変化に対応していく

二月二十日、宮古支部と碧の会の合同二月例会が開催されました。開通したばかりの伊良部島のていだの郷では、本島から参加した碧の会十八名と宮古支部十一名の合計二十九名が経営体験報告や交流などで、多くの学びと気づきを得ることができました。

㈲楽園の果実の砂川智子社長が、「楽園の花嫁～起業家からカメラマンへ～」をテーマに、報告をしました。砂川社長は、有機マンゴなどの栽培や宮古島の食材を提供するカフェをひらいています。今では、来間島の自然を大勢の人に届けたいという気持ちで、経営をしていますが、本土からまだ宮古島とも橋がつながっていない来間島へ渡ってきたばかりの時は、食文化や風習の違いにとまどい、慣れるまでに時間がかかりました。島の暮らしはたくさんの葛藤・苦労がありましたが、それ以上に、家族・島の温かい人々に支えられ、今があるそうです。

続いて、宮古支部の会員にも同友会・碧の会のことをもっと知ってほしいということで、本島からの参加した㈱近代美術の大城恵美さんと、㈲アンカー商事の與崎文美さんが魅力体験発表を行いました。同友会の説明と、同友会で活動することにより、社員教育や会社の組織づくりに活かしている事や女性経営者ならではの悩みを碧の会の先輩にアドバイスをいただいてきたという話をされました。

例会終了後は、海に夕日が落ていくのを眺めながら懇親会が行われ、次の日は、観光と、宮古支部仲間づくりデーを行いました。

報告者の砂川智子氏（右）と座長の宮国美奈子氏

グループ討論では活発な意見交換をおこないました

中同協青年部連絡会・うりずん例会を開催
青年経営者、沖縄に集う！

次代のリーダを目指す －中同協青年部連絡会－

二月二十日、パシフィックホテル沖縄にて、第十回中同協青年部連絡会と、うりずん例会が県内外からの参加者八十九名で開催されました。

青年部連絡会は、二〇一八年に沖縄で開催される青年経営者全国交流会を見通し、その準備も含めて沖縄で行いました。連絡会では、「うりずん」部長の普天間直樹氏が、発足して七年になる「うりずん」部会活動を報告し、その課題などの実践報告を行いました。

続いて、「沖縄が抱える課題と同友会の役割　戦後七〇年、『命どぅ宝（人間尊重）』を経営に！」をテーマに、㈱照正組の照屋義実社長（同友会相談役）が報告しました。戦後七十年たち、基地を抱える沖縄の生活環境、経営環境の中で、どのようなスタンスで地域づくり会社づくりを進めてきたのか、また先輩方が豊かにしてきた郷土を愛し、子供たちに美しい姿で残すことが我々の世代の役割だと述べました。

中同協青年部連絡会

一生付き合える仲間づくり －うりずん例会－

中同協青年部連絡会の後に「うりずん」二月部会例会が八九名の参加で開催されました。報告者は北海道中小企業家同友会「未知の会」代表世話人の橋谷秀一氏で、「本音で語れる楽しい仲間づくり～参加率一〇〇％への未知（道）～」テーマに、「未知の会」の立ち上げからご尽力されてこられた世話人の方々の苦労も含め、現在の参加率に至るまでの経緯をお話していただきました。橋谷氏は百二十年続いてきた食料品及び家庭用食品卸売業、不動産業、倉庫業を営む橋谷㈱（従業員八〇名）の四代目社長で、承継して三年目を迎えます。

「未知の会」には十三の小グループがあり、二十五名の世話人がいます。小グループは二〇名程で二年単位の入れ替え制になっています。世話人は、会を主催することで、組織運営を学びます。会社では、なかなか失敗は許されませんが、ここでの失敗は決して無駄にならず、その失敗が糧になって自身の経営する会社で同じような間違えを起こさないことに繋がります。

橋谷氏は「あなたは社会人になってから、何人、一生付き合えると思う友達（仲間）が出来ましたか？」と投げかけ「未知の会」を通じて、一生付き合える仲間が出来ると断言しました。単なる数集めの参加率ではなく、参加したくなる楽しい会活動（グループ制、例会の当番制、同好会）を具体的にお話し頂きました。

また、グループ討論は、座長を務めた帯広支部の沖田さんがリードし、通常の討論と違ったワールドカフェ的な形式をとり、討論を深めました。

例会終了後、懇親会を行い、古酒泡盛あてゲームや各地同友会紹介などし、盛り上がりました。

報告者の橋谷秀一氏（北海道同友会）

フェイスフェイス 274

今回は、広報委員のもりちゃんが、㈲たけちゃんほーむのごりちゃんこと大城良太さんからお話を伺いに行ってきました！

大城さんは、大学卒業後、求人情報誌を見て、会社に入社しました。武島社長が掲載された求人記事を、今でも大切に保管しているそうです。

会社では、営業を担当されており、入社六年目の今では、係長を務められています。そして現在は、宅地建物取引主任者資格試験の勉強中とのこと。将来的には、沖縄の不動産会社と言えば、誰もが「たけちゃんほーむ！」と言うような会社にしたいと、熱く将来の夢を語ります。

武島社長と言えば、アームレスリングですが、武島社長と大城さんのアームレスリングの練習風景も見せてもらいました。改めて、お二人ともすごい身体をされています。大城さんは、仕事もアームレスリングも武島社長が目標と語ります。毎日のようにジムに通い、週一日は武島社長ともアームレスリングの練習をしています。

現在、新婚ホヤホヤでとても幸せそうな大城さん。強さの奥に優しさを感じる笑顔が素敵な大城さんでした。

（森田純匡）

㈲たけちゃんほーむ
（会員：武島多加雄　代表）
大城 良太さん
所在地／那覇市田原4-2-6
ＴＥＬ／098-859-0833
事業内容／不動産業（賃貸管理）
ＵＲＬ／http://www.takechan-home.co.jp

武島代表（左）とゴリちゃんのアームレスリング練習

「ニライみらい」広告掲載のお願い

下記要領にて広告掲載を募集いたしますので、皆様のご協力をお願い申しあげます。ぜひ、自社のアピールに活用ください！！

【広告料】

Ａ：タテ８cm×ヨコ５.５cm	１０,０００円
Ｂ：タテ８cm×ヨコ８.３cm（Ａの１.５倍）	１５,０００円
Ｃ：タテ８cm×ヨコ11.５cm（Ａの２倍）	２０,０００円
Ｄ：タテ８cm×ヨコ17cm（Ａの３倍）	３０,０００円
Ｅ：タテ８cm×ヨコ23cm（Ａの４倍）	４０,０００円

【原稿締切】
発行月の１日。※完全版下の場合。

※紙面の都合もありますので、ご相談下さい。
※上記の料金は、完全版下持込の場合です。版下製作の場合は、その製作実費がかかります。（例えば、Ａサイズの場合　約1,000～3,000円程度）
※年間（12回）契約も受け付けています（２割引き）。

県内初　新世代の高精細印刷技術
FMスクリーニング導入!!

平成19年３月16日、環境保護印刷推進協議会（E3PA）より、県内初となる環境保護印刷マーク（通称クリオネマーク 認証登録番号 S07-0063）の認証を取得いたしました。

平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006（プライバシーマーク 認定番号24000306(03)）を取得いたしました。

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0306　沖縄県糸満市西崎町5丁目10-14
TEL（098）994-5777（代）FAX（098）852-3008
那覇営業所／〒902-0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL（098）855-2323（代）FAX（098）852-3008
浦添営業所／〒901-2111　沖縄県浦添市経塚　811-14
TEL（098）879-9303（代）FAX（098）852-3008
宜野湾営業所／〒901-2224　沖縄県宜野湾市真志喜2丁目4番16 コーポ下地203号
TEL（098）898-1055（代）FAX（098）852-3008
うるま営業所／〒904-2212　沖縄県うるま市字赤野947-1
TEL（098）974-6911（代）

＜南部支部＞